

第 136 号

発行日  
2024. 3.20

# Super Highway 春闘速報 23

J R 東労組バス関東本部

## マイナス金利解除で、私たちの暮らしは？

日銀は金融政策決定会合で、17年ぶりの利上げに踏み切った。マイナス金利の解除は、金融の正常化への第一歩ということですが、今回政策を変更したのは、2%の物価目標の実現が見通せるようになったから。つまり、賃上げ・春闘の結果が良かったがポイントだと言います。

今後は、「金利がない世界」から「金利がある世界」となり、預金の金利が引き上げとなる反面、住宅ローンや借入れの金利があがり、苦しくなるという事にもなります。中小企業の賃上げに関しても「ある程度の姿が見込める」としていますが、果たして今後の個人消費がどう推移するのでしょうか。

## なかまの声

最低賃金で雇われている。悲しすぎます。

黒字経営になったのだから会社はもう言い逃れ出来ない。賃金の底上げをお願いします。

55歳以上の減額廃止を強く要望。60歳定年後のB社員ではなくA社員での雇用を強く要望します。

物価はまだまだ上がり続けていて政府も賃上げをしろと言っているのに、この会社は賃金が昔のまま。赤字が続いていたのは分かるがそろそろ考えないと、どんどん都営バスに転職する人が増える。この状況が数年続いているがいいのか？

会社は55歳減額廃止に絡めてベア『0』を打ち出したり。そんな事はさせず、しっかり勝ち取ろう！！

いい加減限界です。

J Rバス関東で働く仲間を一つに！